十勝毎日新聞

発行所
十勝毎日新聞社
帯広市東1条南8丁目
編集㉒2121広告事業㉓2323
総務・経理・販売㉔2222
夜間㉒2125
振替小樽18328番
©1981十勝毎日新聞社

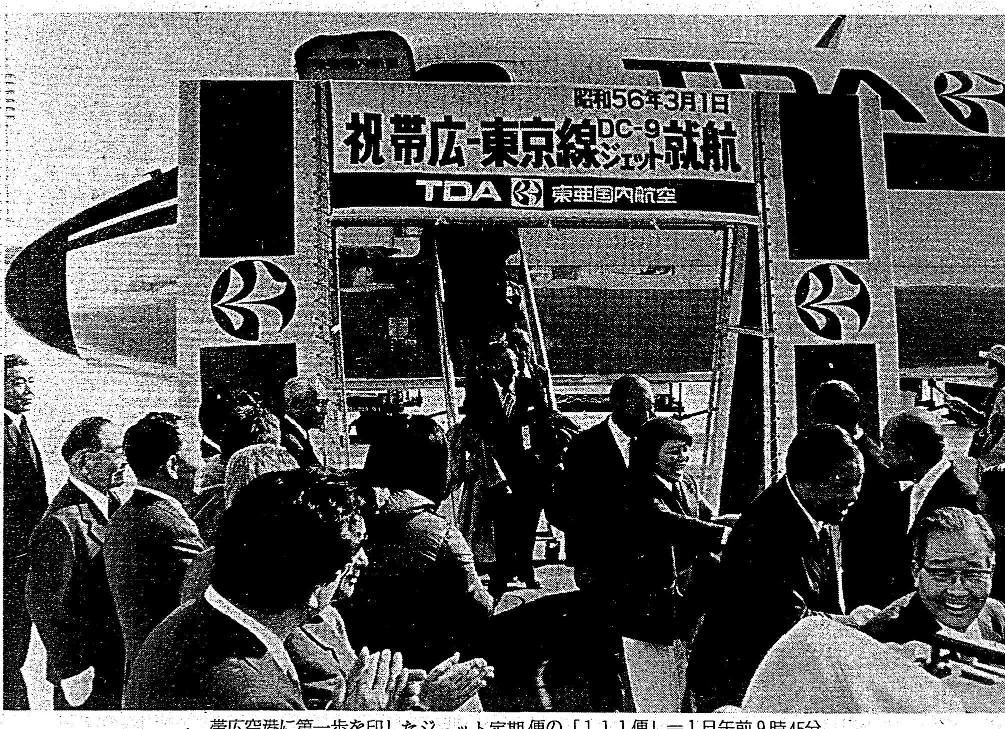
十勝晴れにジェット一番機

新帯広空港オープン

平原太鼓の歓迎受け

中川大臣先頭に第一歩

道内では千歳、函館、釧路に次ぐ四番目のジェット空港、帯広空港が一日、十勝住民の期待と注目を一手に集めて華々しく開港した。市内の中心部から二十五キ、以平、泉町にまたがる広大な田園の真ん中に誕生した空港では、この日午前九時四十五分、到着便の一番機「111便」のDC9―41型機が、ジェット音を小気味良く響かせながら、二千㍍の滑走路を滑るように着陸。ここに住民の念願だったジェット定期便の就航が現実のものになった。この日は空港で初便歓迎行事などのセレモニー、市内中心部の会場では落成式典・祝賀会が盛大に行われ、新空港の開港、ジェット機就航を祝福するムードにあふれた。（11面に関連記事）


昭和56年3月1日
祝帯広-東京線DC-9ジェット就航
TDA
東亜国内航空

帯広空港に第一歩を印したジェット定期便の「111便」＝1日午前9時45分

田本市長　力強く開港を宣言

午前九時、長さ二百三十㍍、幅百九十㍍もあるだだっ広いエプロンの入り口に紅白のテープが張られ開港式。田本憲吾帯広市長が「ここに帯広空港の開港を宣言する」と、力強く宣言文を読み上げると、出席した百八十人の関係者から大きな拍手が巻き起こった。引き続いて田本市長、寺田道副知事、山本運輸省飛行場部長、宮本帯広商工会議所会頭らがテープカットを行った。この日は開港を祝うように、カラリと晴れ上がり、天候を心配していた関係者はホッとしていた。

同九時四十分過ぎ、東京から到着する一番機「111便」が空港上空に姿を見せ、鋭い金属音を響かせながら、次第に高度を下げ、同九時四十五分、滑走路にランディング。これを見守っていたセレモニー出席者や一般見物客から拍手が送られた。

飛行機は二千㍍の滑走路の北側で一時停止したあとUターンしてエプロンへ。ボーディングブリッジ下で待機していた平原太鼓が歓迎の太鼓を打ちならし、タラップが飛行機に設置された。関空港長（市空港部長）がタラップを上ってとう乗客を出迎え。初便ということもあり、百二十八人の満席で、中川一郎科学技術庁長官ら来賓を先頭にとう乗客が、参列者の拍手を受けながら次々とタラップを下りた。タラップ下では大正農協女子職員が記念の牛乳を一人一人にプレゼントした。

同十時、こんどは帯広発初便の東京行「110便」のセレモニー。二百人の関係者がエプロンに駐機したDC9型機の前に整列。田本市長、田中東亜国内航空社長があいさつしたあと、パイロットの森道也さん（三）、スチュワーデス、井神琴美さん（三）らに花束が贈られた。

引き続いて中川長官、田本市長、田中社長、植村直己さんらがテープカット。百二十八人の乗客が誘導され、タラップ前で牛乳、記念はがき、パンフレットをプレゼントされたあと、とう乗。エンジンを始動し、中川長官の万歳で同十時二十分、出発便の一番機は、滑走路をフルスピードで走り、急角度で上昇、ほんの一、二分で地上から見守る関係者の視界から消えた。

正午からは市内の迎賓閣に八百人の関係者が集まって開港式典とターミナルビル落成式典及び祝賀会。工事経過報告のあと田本市長、宮本ターミナルビル社長が式辞を述べ、用地提供者、大正農協、帯広商工会議所に感謝状を贈呈、引き続き中川長官、木ノ内市議会議長、道下大正農協組合長らが祝辞を述べた。このあと祝賀会が盛大に行われ、吉村前市長の万歳発声で締めくくった。

この日ターミナルビルは、とう乗客をはじめ、見送り、一般見物客などで大変な混雑ぶり。三階の送迎デッキは整理員が出るほどで、開港、ジェット化の“熱気”がビル全体にみなぎっていた。

帯広・十勝

新時代の幕開け

夢広がるジェット空港

“見事な着地”。新帯広空港に飛来した処女機、羽田発111便に空港に詰めかけた黒山の人だかりから拍手の渦が巻き起こった。帯広・十勝の新しい時代の幕開けを歓迎するファンファーレでもある。道内四番目のジェット空港OBIHIRO。道東の空の玄関口の地位を回復、六十年には滑走路を二千五百㍍に拡張、名実ともに国際空港千歳のサブ空港化が約束されている。そうして北方の国際貨物空港へ…夢は末広がりだ。

航空政策研究会（木村秀政会長）が推定する道内主要国内空港の利用見込みでも、帯広空港は六十年に七十八万九千人、六十五年には百四十万人は“堅い”と踏んでいる。

五月～八月の観光シーズンに海霧が発生、欠航がちとなる釧路空港と違い、「五十四年の旧帯広空港はスト以外の理由による欠航は七日」だった。

ILS、VOR、DMAの計器安全施設の完備した新空港はジェット化により、さらに就航率アップが保証された。釧路に先を越されたジェット化だったが今後は釧路の天候悪化の場合帯広に着陸する。数少ない「年間百万人の利用空港」の仲間入りは案外早まりそうだ。

東亜国内航空は五月からDC9スーパー80を投入、五十七年にもA300を就航させる予定だ。YS11では五百キしか積めなかった貨物は、DC9―41が二トンと四倍になる。DC9スーパー80は五トン、A300就航時には十二トンずつで待望の航空貨物コンテナを積み込める。高速大量輸送の戦略展開が可能になり「早い機会のダブル・トラッキング」の実現が待たれている。

年間百二十万人の観光客の入り込みは、国鉄根室本線の七本と、国道38号、国道236号線が主力だった。それが“空”に太いパイプがガッチリ通った。十勝・帯広の交通戦略の“様変わり”を意味する。

「付加価値の高い二次産業、農畜産、水産業界の生産形態にインパクトを与えずにはおかない」（田本憲吾帯広市長）。農業団体は空輸野菜、アスパラ、ユリ根、ホウレンソウ、レタスの増反体制を検討、一部はテスト栽培に入った。

高知県は、冬野菜十一品目を毎日二十トンずつ北海道に空輸する「シー・アンド・エアー方式」の詰めに入った。逆に東京、大阪の大消費地が夏枯れの時に、十勝の鮮度の高い野菜を空輸する。「けっして不可能な事ではない」（S農協販売課長）。

東京～帯広間は一時間半、軽く日帰りが可能な首都圏のカサの中に入った。企業家の往来、文化人の交流は深まる。千歳空港はジェット化十年で第一～第四工業団地を周辺に完成させ、六十六企業が張りつき、工業出荷額は九百億円を超えた。

晴天日数が日本一多く、鉄のサビない十勝。電子・精密部品工業、建設、農業関連工業の展開が千歳のように可能だ。六十年には十勝港に一万トン級バースが完成、東京港を五百四十カイリで結ぶ重要港湾となる。石勝線の十月開業に次ぐ六十年前後の青函トンネルの開通で陸・空・海の広域“交通戦略”ネットワークは完成する。いってみれば、新帯広空港オープンはこの序曲、いや二世紀の交通戦略始動でもある。

「新空港が完成した」。それだけでは通過観光客がシーズンに殺到するだけに終わる。帯広・十勝の産業、観光発展への波及効果は空回りだ。

「空港ジェット化に伴う、地域産業開発のプロジェクトチームを市、経済界、学識経験者で作り、広域的な工業適地用地を確保、大胆な政策を打つべきだ」―熊本・鹿児島両空港を中心にしたシリコンアイランド（IC・集積回路）を視察した帯広工業団体協議会の“提言”を実践する。

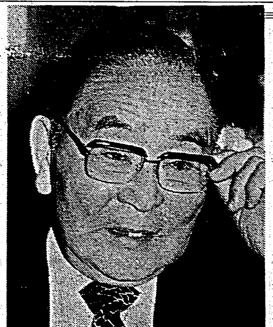
観光も単に見せるだけから、農家の民泊や、収穫、あるいは委託管理栽培の“体験・滞在型観光”などに移行、シーズンオフの冬には遊覧馬ソリ、馬スキーなど新たな通年観光開発が必要だ。

地元の英知・資本力を結集する。あるいは吸客力を持つ国・道・民間施設を誘致する―など、新空港のジェット化を十勝圏域振興のバネにする路線を一日も早く敷くことを迫られている。

六十年までに滑走路は二千五百㍍に拡張になる。函館と同じ名実ともに道内ナンバー2の基幹空港だ。千歳のサブ空港化は既成の事実となる。そればかりではない。二百八十九㌶の空港用地は確保済み、滑走路を三千㍍に拡張可能だ。その時点ではC（税関）、I（出入国管理）、Q（検疫）、大動物係留所を設け、わが国の北半球の国際貨物仕分け空港に…そんな日が必ず来るであろう。

（寺井　睦久記者）

ぴーぷる



新空港立地の立役者、大正農協組合長

道下美作さん(72)

地主と市の橋渡し

「以平―泉地区が新空港適地と聞かされたのは確か吉村市長時代だったと思う。市は地元が素直に受け入れると思ったらしいが、そう簡単にはいかない問題であることを悟らせるため市の担当幹部と接触を続けた」。新空港と深くかかわることとなる端緒である。

「初めは市には現地に入らないよう、時期を見て入ってもらわないと土地所有者が混乱するから、と強くいっていたのですが…」。ところが、市は独自の判断で現地入り、予測通りの混乱が起きた。五年前のことだ。「空港用地確保のため土地の売り渡しを地主（農家）に求めることは、手はずを一つ間違うといたずらに混乱を招く」。市当局の考えもわかる。地主の悲壮な気持ちもわかる。空港立地の条件闘争団体、大正五者会（農協、農民組織、住民などで構成）の代表として両者の“板ばさみ”に遭い、悩み抜いただろうことは想像にかたくない。

地主も良識があった。土地売り渡しの方向で話はスムーズに進んでいた。ところが、代替地問題で話はこじれる。農振除外告示（五十年十二月）で三人の異議者が出たからだ。「この時は困った。各戸を回って説得に当たった」。航大機の乗り入れ問題についても、練習機の二度にわたる不時着事故で二転、三転したことは記憶に新しい。ここでも間に入って話をまとめたのだ。

市は現在、新空港周辺農家にアルミサッシ、二重窓の工事をしている。「しかし、航空機騒音公害については実際に飛んでみないことにはなんともいえない」と優しい目がキラリと光る。交通障害も含めた今後の問題を考える時、開港を手ばなしでは喜べないようだ。「十勝農業の再開発、前進の基礎が確立したという意味でもちろん、開港の意義は大きい」と農協組合長ならではの言葉で結んだ。

趣味は庭木いじり。アルコールはビール一本程度、たばこは昨年やめた。元道議会議員、藍綬褒章受章。子供は三男二女。現在、帯広市大正町基線八〇にもとえ夫人（六九）と長男夫婦、孫三人の七人暮らし。大正町出身。

（花香　光伸記者）

ご卒業おめでとうございます。
学窓をあとにするご卒業生、新しい一歩をお元気で。
六花亭

季節労働者生活資金を貸し付け

帯広市は二日から四月二十日まで社会福祉協議会で季節労働者に生活資金を貸し出す。

融資対象は短期雇用特例被保険者で、一時金の支給を受けたが、冬期間に就労がなく生活が困難な者。

貸付限度額は一人十万円までで、返済期間は今年五月から十月まで毎月払い（六回払い）、貸付利率は月〇・五%、詳細は勤労者福祉センター㉒3130に問い合わせるとよい。

新聞拡張

景品にテレビ、自転車

公取、是正申し入れ

【東京】新聞の勧誘状況は、洗剤、デジタル時計など拡材および無代紙の提供が日常茶飯事になっており、ここ数年間に増加する傾向にある。また、発行者が販売業者に注文を超えて供給する押し紙の比率は三・四%―これは公正取引委員会が新聞の不公正取引の是正を検討する基礎資料にするため昨年七月に初めて実施した「新聞業の取引実態調査」の結果だ。

公取委では「自粛体制がありながら、押し紙、景品提供の違反行為が多過ぎる」とし、二十八日、新聞公正取引協議会（委員長・前沢健則朝日新聞東京本社販売局長）に対し、是正のための抜本的対策を講じるよう申し入れた。

消費者とトラブルが生じた件数は七七・一%の五百九十九件にのぼり「断ってもしつこく勧誘を続けられ、家から出ていかない」「契約期間を勝手に長くしたり契約しないのに配達されるようになった」「契約したあとで解約を申し出ても応じてもらえなかった」など。

拡材に使われる商品としては、洗剤、デジタル時計、ビール券、せっけんなど千円―五千円程度のものが多いが、中には自転車、カラーテレビなどの高額商品を提供して一、二年という長期の契約を強制している例も出ている。

贈答品総合卸
カワタギフト
帯広市東1南11 ☎㉓1267

開発道路に正式指定

日高・十勝中央横断道

57年度にも本着工

【東京】日高管内静内町と中札内村を結ぶ道道静内―中札内線（日高・十勝中央横断道路）の建設に関して二十八日、建設大臣の開発道路指定が正式に下りた。これによって今年から道開発局の実測調査とアセスメントの追加調査がスタート、早ければ五十七年度後半にも本着工となる見通し。

開発道路の指定を受けたのは総延長七十五キのうち、日高山脈中央部分の不通区間十二キを含む二十四・五キ。残りは昨年十月の道議会で道道昇格が決まっており、道が整備することになる。この指定によりたな上げされていた五十四、五十五年度の開発予算調査費一千万円が使えることになり、さらに道も自然環境影響調査費二百四十万円を計上、今後、データの不足部分を補うことになる。

国産チーズ振興策で独自案提示

北農中央会

【札幌】乳業メーカーの不参加で農林水産省の国産チーズ振興構想が宙に浮いたままとなっているが、北海道農協中央会（早坂正吉会長）は二月二十七日までに国産チーズ振興を生産者単独で推進することを前提に、独自の国産チーズ振興案をまとめた。

同振興案の柱は①年産能力一千トン規模のナチュラルチーズ工場を北海道に建設し、将来は五千トン規模に拡大する②輸入チーズとの価格差を補てんするため酪農家が五年間で二十億円（生乳一キ当たり二十五銭程度を拠出）を積み立てる―の二点。農水省の構想に比べると、工場の生産規模を半分に、価格補てんのための積立金（基金制度）を五分の一程度に縮小しているのが特徴となっている。

同中央会はこの振興案を既に同省に示しており、暗礁に乗り上げた国産チーズ振興の打開策にしようとしているが、乳業メーカーを除いた形での工場運営には、ナチュラルチーズの販売面などで大きな問題があり、同省でもその対応に苦慮している。

天気予報

▽1日夜　北西の風、晴れ。山沿いは一時雪。海は多少波がある。

▽2日　北西のち西の風、晴れ。海は多少波がある。

▽2日　日の出　6時1分　日の入　17時17分

最高気温（28日）㊀1・8度
最低気温（1日）㊀16・6度

十勝港の満潮干潮（2日）
満潮　2時53分　10時22分
干潮　5時31分　18時54分

毎日片々

新しい十勝圏域の幕開け、新帯広空港にジェット機就航。空も十勝晴れ。翼まぶし。

◇

連続三年乳価安は酪農切り捨てのムチ。我慢限界。再生産償う乳価実現に手貸そう。

◇

音更町長選挙、三月決戦に突入。立候補予定者もフル回転。町民の声、じっくり聞こう。

◇

新空港、一目一番機をみようの住民五千人。車十キの列。さすが車の十勝。

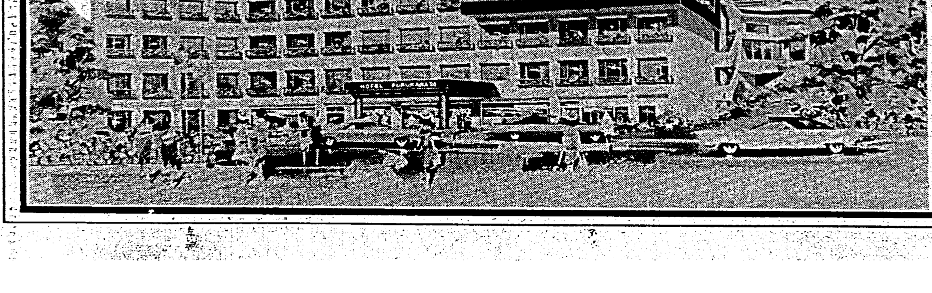
◇

地下道設置信じたのに今になって断念。それはないと鉄南住民市に抗議。さてどうする。

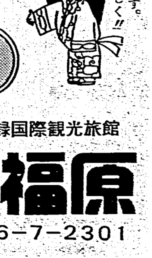
本日12ページ

受付け中です。
進学者またはそのご親族にご融資する「国民金融公庫の進学資金融資」です。
●ご融資額　1世帯50万円まで
●年　利　8.8%
●受付け　4月30日まで
このほか〈たくぎん教育ローン〉のご利用も、ご相談ください。
国の進学ローン
上手につかおう
こまやかな おつきあい
たくぎん
北海道拓殖銀行

大自然の美しい景色の中で、良く学び良く遊ぶための豪華なホテル
あらゆる会議や会合にご利用下さい。
●帯広より70km、90分
《冬期完全除雪》



（1泊2食付）5,800円より
●研修会、セミナー、見本市、展覧会、芸能や趣味の発表会、同窓会、後援会、歓送迎会、慰安会、各種団体の会議及び懇親会、それぞれのご利用目的に応じた会場及び器具、備品等を整えております。
よく学ぶ施設!!
イス席会議室30人用から300人用まで5カ所。（音響、照明、スライドスクリーン、その他会議のために必要な機能完備。）
よく遊ぶ施設!!
宴会場30人用から300人用まで10カ所。広くて豪華な温泉大浴場、1泊だけでは時間が足りない、楽しい遊びの施設がいっぱい。
広い広い女性専用の温泉大浴場に金魚が泳いでいます。
館内を流れる川に、天然記念物で名物の魚、オショロコマがいっぱいいます。
常設大ホールにて連日公演!!
海外ショー、平原太鼓
（3月より新しい外人ショーメンバー来演）
送迎無料!!
帯広より8名様以上
然別湖
大雪山国立公園然別湖・政府登録国際観光旅館
ロイヤルホテル福原
〒081－03　河東郡鹿追町然別湖畔　TEL01566－7－2301


シカリベチコです。
どうぞよろしく!!